

## SPI World Symposiumを10年ぶりに開催 世界レベルのインプラント治療を 国内で体感できる絶好の機会です



兵庫県神戸市  
奥田歯科医院  
院長 奥田 浩規

2026年4月25日(土)、26日(日)の両日、実に10年ぶりとなるSPI World Symposiumが開催されます。ゲストに、インプラント治療において世界的に著名なMarkus Hürzeler先生をお招きし、貴重な手技やノウハウをお示しいただきます。また、若手の先生方を交えた講演会も開催。その講演会に登壇される国内講師の代表として、奥田浩規先生にシンポジウムにかける意気込みなどについてお話を伺いました。

### —このたび、モリタ主催のSPI World Symposiumで、講演会の講師選出を務められた経緯をお聞かせください

現在、主に関西の若手の先生方を対象に、インプラント治療に関する講習会や勉強会を主宰しています。その中で、昨年ドイツ・ミュンヘンで行われたZuhr先生とHürzeler先生の講義やハンズオン研修を受ける機会に恵まれて、大いに新たな知見を吸収することができました。今春、そのHürzeler先生が来日されると聞いて、ぜひ私たちの勉強会を含め、若い気鋭の先生たちとコラボレーションさせていただきたい、と思ったことがきっかけです。

### —Hürzeler先生のどんなところを評価されているのでしょうか

唇側歯周組織の温存を試みるために「ソケットシールドテクニック」という手法を2010年に提唱されたことは、インプラント治療をされる先生なら皆さんご存知だと思います。その予後に

ついても、骨の保存状態や歯肉の厚みが非常に良好であることが報告されています。また、実際の手技だけでなく症例写真も非常にきれいですし、教え方も理論的かつ丁寧でとてもわかりやすいのです。歯科医師として『教育・臨床・人間力』の三拍子が揃った、私たちにとってまさに憧れの存在です。

### —Hürzeler先生のハンズオンセミナーや講演はどんな部分に注目されていますか

とにかくHürzeler先生のインプラント治療は審美性が高く、とても美しいのです。ハンズオンセミナーを受講することで、その理由や真髓を学んでいただけないかと思っています。例えば、結合組織移植において、機械研磨されたカラー部を持つSPIシステムインプラントに対してどのように応用されているかは、私としても非常に注目したいポイントです。さらに、トンネルテクニックや結合組織移植術(CTG)の際に、ボリュームのある歯肉をいかにSPI



昨年ドイツ・ミュンヘンにあるMarkus Hürzeler先生のクリニックで、研修を受講された際の様子

システムインプラントと融合させるのかについても、興味があります。実際にその手技を目の当たりにすることと、論文や書籍で読むのとは得られる情報の質や量が全く違いますから、興味のある先生方は、ぜひハンズオンセミナーを受講されるのが良いと思います。

### — 主宰される勉強会から奥田先生をはじめ、若手の先生方も講演されますね

講師の先生方は、多くの知識と技術をお持ちで、人間的にも素晴らしい先生方ばかりです。内容については、実際にインプラント治療を行う際に必須となる軟組織移植や硬組織増生術を念頭に置き、テーマを「ティッシュマネジメント」「抜歯即時インプラント埋入」「GBR」の3つに分けました。その3つの分野において、SPIシステムインプラントを用いながら、いかに審美的にも機能的にも満足できる結果をもたらすことができるのか、ぜひ注目いただきたいですね。

### — このシンポジウムでいちばん注目してほしいポイントは何でしょう

本音を言えば全てです(笑)。その中でも、やはりSPIシステムインプラントならではの特徴に、特に注目していただきたいですね。また、Hürzeler先生が長年SPIシステムインプラントを使い続ける理由が必ずあります。ハンズオンセミナーや講演の中にそのヒントが示されているはずですから、それを決して見逃さずに、学びを深めていただければと思います。私もSPIシステムインプラントを導入して5年ほど経ちましたが、ロスト(喪失)もほぼありませんし、インプラント周囲のマージナルボーンロスも少ないという臨床実感を得ています。

### — 最後に『デンタルマガジン』読者にメッセージをお願いします

このたび、インプラント治療の世界では世界的に著名なHürzeler先生の講演をリアルタイムで聴くことができ



る絶好の機会です。また、国内の若手の先生方による講演では、SPIシステムインプラントを用いた基本的な手技や考え方も盛り込んでいます。世界のスーパースターの症例に加えて、私たちが国内でどのような結果を出しているのかをご覧いただけるチャンスでもあると思っています。これからインプラント治療を取り入れたい、とお考えの先生方にも学びになる内容となっていますので、この貴重な機会をお見逃しなく、一緒に楽しみながら学んでいただければ嬉しいです。

次ページに、Hürzeler先生による「5年間のパイロットスタディにおけるソケットシールドテクニックの成果」に関する記事を掲載しております。ぜひそちらもご覧ください。

# SPI<sup>®</sup> World Symposium

～ Dr. Markus Hürzelerが語る最新のソケットシールドテクニックと臨床応用～

THOMMEN  
Medical



国内演者



粟谷 英信 先生 安斉 昌照 先生 小川 雄大 先生 奥田 浩規 先生 萩原 誠 先生 湯口 晃弘 先生

Hands On  
ハンズオン  
**2026.4.25 Sat 9:00-18:00**  
**Dental Plaza Tokyo**  
東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地  
新お茶の水ビルディング 4階

対象 歯科医師  
定員 20名  
参加費 250,000円



キャンセル待ち  
お申込みはこちらから  
<申込期限>  
2026年4月10日(金)

Symposium  
講演会  
**2026.4.26 Sun 10:00-18:00**  
**東京ポートシティ竹芝 ポートホール**  
東京都港区海岸1-7-1  
東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー1階

対象 歯科医師、歯科衛生士、  
歯科技工士  
定員 300名  
参加費 15,000円



お申込みはこちらから  
<申込期限>  
2026年4月10日(金)